

カワラサイコ

Potentilla chinensis Ser.

バラ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が河川敷、海岸など開発の影響を受けやすい場所数力所に限られている。(現況:RO)

形態

多年生草本。根茎は太く、全草に長毛がある。葉は深く羽状に裂けて15~29小葉に分かれ、それぞれの小葉はさらに羽状に深く裂ける。花は黄色の5弁花で、径10~18mm。

国内分布

本州、四国、九州。

県内分布

外浦区、中能登区、加賀中央区、南加賀区。

生態など

花期は6~8月。草丈30~70cmで、茎は根ざわで分枝して地をはい、先の方は斜めに起きあがって枝を分け、花序をつくる。高茎の草本が繁茂すると淘汰される危険性がある。河原によく生えるので、この名がついた。

生育環境

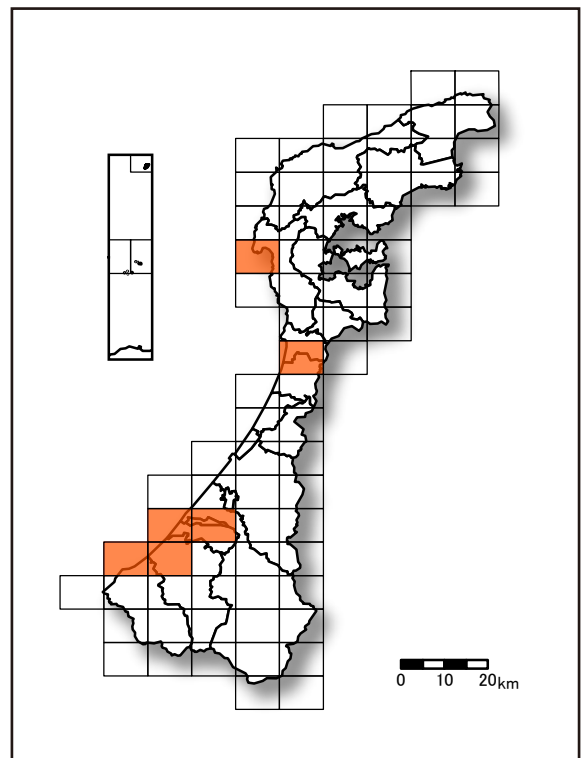
河川敷および砂浜海岸低木林縁。

危険要因

河川開発、海岸開発、土地造成、道路工事、園芸採取、踏みつけ、自然遷移。



本多郁夫・白山市



県内の分布